

	特別の事情	特別控除額 B		
世帯を対象とする控除	①母子・父子世帯	490, 000円		
	②就学者のいる世帯(1人につき)※出願者本人は含めない	小学生		80, 000円
		中学生		160, 000円
		国立・公立	自宅	280, 000円
		高校生	自宅外	470, 000円
		私立高校生	自宅	410, 000円
			自宅外	600, 000円
		国立高専生	自宅	360, 000円
			自宅外	550, 000円
		国立高専生(全免許可)	自宅	210, 000円
			自宅外	420, 000円
		私立高専生	自宅	600, 000円
			自宅外	800, 000円
		国公立大学生	自宅	590, 000円
			自宅外	1, 020, 000円
		国公立大学生(全免許可)	自宅	280, 000円
			自宅外	720, 000円
		私立大学生	自宅	1, 010, 000円
			自宅外	1, 440, 000円
		国立学校に係るものは、当該就学者が一部の授業料免除を受けている場合、全免許可の金額に授業料実納付額を加算することができる。		
	③障害者のいる世帯	1人につき	860, 000円	
	④長期療養者のいる世帯	療養のため、経済的に特別な支出をしている金額(領収書等により確認した金額を1年分として算定)		
	⑤主たる家計支持者が別居している世帯	別居のため、特別に支出している金額。(主に別居のための家賃などが該当。但し710, 000円が限度)		
	⑥火災、風水害、盗難等をの被害を受けた世帯	日常生活を営むために必要な資材あるいは生活費を得るための基本的な生産手段(田・畑・店舗等)に被害があつて、将来長期にわたって支出増又は収入減になると認められる年間金額		
	⑦父母以外の者で収入を得ている者のいる世帯	父母以外の者の所得者1人につき380, 000円。なお、その所得が380, 000円未満の場合は、その所得額。ただし本人及び配偶者は除く。収入金額と混同しないこと(103万円未満は基本的に所得額0円)		
本人を対象とする控除		大学院生	自宅	280, 000円
			自宅外	720, 000円
		※独立生計者の場合は、全員「自宅」として取り扱う。また、留学生も同様に「自宅」として取り扱う。		

収入基準額 D	博士後期課程(授業料全額・半額免除の場合)		
	世帯人員(家計を一にしている世帯の人数で計算する)	1人	1, 320, 000円
		2人	2, 120, 000円
		3人	2, 450, 000円
		4人	2, 660, 000円
		5人	2, 880, 000円
		6人	3, 020, 000円
		7人	3, 150, 000円
		以降、1人増える毎130, 000円加算	
	博士後期課程(入学料免除の場合)		
	世帯人員(家計を一にしている世帯の人数で計算する)	1人	2, 540, 000円
		2人	4, 040, 000円
		3人	4, 670, 000円
		4人	5, 070, 000円
		5人	5, 480, 000円
		6人	5, 740, 000円
7人		6, 020, 000円	
以降、1人増える毎280, 000円加算			
5年課程1～2年(授業料全額・半額免除の場合)			
世帯人員(家計を一にしている世帯の人数で計算する)	1人	960, 000円	
	2人	1, 520, 000円	
	3人	1, 770, 000円	
	4人	1, 920, 000円	
	5人	2, 080, 000円	
	6人	2, 170, 000円	
	7人	2, 260, 000円	
	以降、1人増える毎90, 000円加算		
5年課程1～2年(入学料免除の場合)			
世帯人員(家計を一にしている世帯の人数で計算する)	1人	1, 820, 000円	
	2人	2, 900, 000円	
	3人	3, 340, 000円	
	4人	3, 640, 000円	
	5人	3, 930, 000円	
	6人	4, 120, 000円	
	7人	4, 320, 000円	
	以降、1人増える毎200, 000円加算		